

| | | | | | | | | | |
|----------------------|--|------|----|---------|----|--------|--|-----|--|
| 講義コード | 11C0102100 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 日本語1 | | | | | 洪沢 妃生子 | | 第1期 | |
| 履修前提条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | 大学生として主体的に学ぶために不可欠な日本語技能とスタディ・スキルを養成することがこの科目のねらいである。なかでもこの科目では、テキストに取り上げられたテーマを中心に文法と読解力の向上を目指す。テキストの内容整理を通して、ノートの取り方について学習し、また、大学生にふさわしい中・上級文法、表現文型なども併せて学習する。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 日本語の文法、文型、論理的な文章の構造に関する知識を持ち、それを文章作成に活用することができる。授業で得た知識・講義から得た情報を整理して、活用するスタディ・スキルを身につけることができる。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・ 授業外学修時間数 | この科目では15時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、予習・復習を行うこと。授業中に指示した課題を期限内に行い、提出すること。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | 【第1回】 ガイダンス、プレズメントテスト及びフィードバック 【第2回】 I (1) 文章構造 (2) 段落内の構造 II 書き言葉の文体 【第3回】 小テストとフィードバック 【第4回】 I 中心文・支持文 II 連用中止形 【第5回】 小テストとフィードバック 【第6回】 I (1) アウトライン (2) 分類① II 主語・述語 【第7回】 I (1) 論理の構造 (2) 分類② II 名詞句 【第8回】 小テストとフィードバック 【第9回】 I 定義 II 「こと」 【第10回】 小テストとフィードバック 【第11回】 I 経過① II 助詞相当語① 【第12回】 I 経過② II 助詞相当語② 【第13回】 小テストとフィードバック 【第14回】 前期まとめテスト 【第15回】 まとめテストのフィードバック、質疑応答 | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 前期まとめテスト40%、小テスト30%、課題10%、授業への取り組み姿勢20%で評価する。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 課題に対する講評を翌週授業内冒頭にて行う。また、提出された課題を添削し、授業期間内に返却する。 | | | | | | | | |
| 教科書 | 『大学・大学院留学生の日本語①読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2009年、『その他、適宜プリントを配布する』 | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜紹介する | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |